

こもろ 市議会だより

12月定例会

No. **149**
平成25. 1.30



3月定例会は、
2月26日(火)開会の
予定です



平成25年 小諸市消防出初式

こもろ市議会だより

あけまして
おめでとう
ございます
議会報告会特集!!

主な内容

- 12月定例会の概要・・・ 2～3ページ
- 議案の表決状況・傍聴席・・・ 3ページ
- 常任委員会報告・・・ 4～5ページ
- 請願・陳情の審査結果・・・ 5ページ
- 個人質問(15名)・・・ 6～10ページ
- 議会報告会報告・・・ 11～14ページ
- ごみ処理施設建設特別委員会報告
議員紹介コーナー・・・ 15ページ
- 11月臨時会の概要・厚生病院・市庁舎問題
特別委員会報告・編集後記・・・ 16ページ

小諸市スポーツ推進条例 制定

総合体育館耐震補強等 補正予算可決

平成24年第6回12月市議会定例会は、11月27日から12月18日の22日間の日程で開かれました。本定例会で理事者から提出された案件は、条例、補正予算、報告が24件で、それぞれ全会一致で可決、認定されました。また、地方自治法の改正に伴い、小諸市議会委員会条例、小諸市議会の議決すべき事件を定める条例、小諸市議会会議規則の条例・規則の一部を改正する条例及び規則と、関係省庁への意見書提出を求める議員発議2件が提出され、可決されました。

主な議案

◆条例

「小諸市スポーツ推進条例」

この条例は、全ての市民が、体力、年齢、技術、目的等に応じて、スポーツ活動に参加する機会の提供を受け、地域スポーツクラブ及び地域における人材の育成等に必要となる施策を講じ、生涯にわたるスポーツ活動を推進することを目的に制定するものです。

「小諸市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」

この条例は、地方自治法の改正を受けて、現在

議員に交付されている

「政務調査費」の名称を「政務活動費」と変更し、

政務活動の範囲を調査研究のほか研修等と条例で定め、政務活動費の適切な運用を期すため、議長

が必要に応じて収支報告書の調査を実施するなど

使途の透明性を確保するため定めるものです。

「小諸市市税条例の一部を改正する条例」

この条例は、市民税の寄附金控除の対象となる

寄附に、「小諸市内に事務所または事業所を有する法人」及び「公益信託

の信託財産とするため支出した金銭」を追加し、

市民税の寄附金控除の対象を拡充するものです。

「小諸市民ガードン条例の一部を改正する条例」

この条例は、平成17年4月より休館している小諸市立小諸宿本陣主屋について、整備された小諸

市民ガードン内の施設として位置づけ、駅周辺一体の案内とおもてなしの

場として活用していくため改正されるものです。

○その他の条例

「小諸市指定地域密着型サービス」の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例」

「小諸市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護

予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例」

「小諸市指定地域密着型サービス事業者及び指定地域密着型介護予防サービス事業者の指定に関する基準を定める条例」

「小諸市廃棄物の処理及び再生利用の促進に関する条例の一部を改正する条例」

「小諸市市道に設置する道路標識の寸法等に関する条例」

「小諸市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例」

「小諸市公共物管理条例の一部を改正する条例」

「小諸市営住宅条例の一部を改正する条例」

「小諸市都市公園条例の一部を改正する条例」

「小諸市下水道条例」

「小諸市議会の委員会条例の一部を改正する条例」

「小諸市議会の議決すべき事件を定める条例の一部を改正する条例」

「小諸市議会会議規則の一部を改正する規則」

◆補正予算

平成24年度小諸市一般会計補正予算（第8号）

平成25年度より第2子以降の保育料を軽減するため、現行の保育料システムの開発・改修委託料

として80万円、生活保護扶助費として2千900万円、

4種混合ワクチンが本年11月1日から定期予防接種として実施することに

伴うワクチン代追加分として280万円、市内小中学校の給食用パンの材料として市内農家に栽培して

もらっている小麦の買取り料の追加分として28万

4千円、森山工区の農道舗装工事、延長675mの工

事請負費等1千439万5千円、森林の里親協定に基

づくルイ・ヴィトンジャパンからの寄付を財源に

行う間伐委託料として150万円、市内通学路一斉点

検の結果を受け各通学路に歩道やグリーンベルト

を設置する工事費として2千600万円、公共下水道



請願書の表決状況

松井川雨水幹線の改修工事費として7千万円、市内小中学校の防犯用備品購入費として24万円、小諸総合体育館の耐震補強工事費として8千900万円が計上されました。

このほか、平成24年度一般会計補正予算（第7号）、平成24年度小諸市介護保険事業特別会計補正予算、平成24年度小諸市公共下水道事業会計補正予算の補正予算が計上されました。

一般議案

- ・ 字の区域の変更について
- ・ 小諸市北国街道与良館の指定管理者の指定について
- ・ 小諸市老人憩の家の指定管理者の指定について
- ・ 小諸市寝たきり予防センターの指定管理者の指定について

討論

請願24・13 消費税増税の中止を求める請願書

本会議での採決の際、採択とする委員長報告に対して、次のような討論がありました。

* 反対討論

持続可能な安心の社会保障制度構築に必要な安定財源を確保するため、

消費税を含む税制抜本改革は避けられないと考え

る。当請願書に指摘の①

景気経済②低所得者・逆

進性対策③中小企業対策

等については、関連法条

項に記載の対策等で充分

配慮されている。増税実

施時期も景気回復等を確

認し判断すると規定。高

額商品の住宅対策等の課

税は引上げまでに対策を

実施する。自動車関連諸

税も含め税制全体改革実

施を担保していること等

* 賛成討論

消費税は、所得の少な

い人ほど、所得に占める

負担割合が高く、所得の

高い人ほど低いという逆

する不公平な税制です。価格に転嫁できず、得意先や消費者からもらえない中小零細事業者は、自腹を切っている。

輸出大企業には、年間

1兆円以上の還付金が支

払われている。

増税分が社会保障に充

てられないことは、社会

保障制度の政府案を見て

も明らかです。

デフレ不況下での増税は

中止すべきです。

本会議での採決結果は

5ページ参照

意見書

12月定例会において、次の意見書が可決され、関係省庁へ送付されました。

○安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める意見書

内閣総理大臣ほか宛

○安心できる介護保険制度の実現を求める意見書

内閣総理大臣ほか宛

内閣総理大臣ほか宛

議案の表決状況

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。○は賛成、×は反対を表しています。

議 案 名	議 員 名																			
	早川 聖 議員	竹内 健一 議員	柏木 今朝男 議員	田邊 久夫 議員	神津 真美子 議員	清水 喜久男 議員	依田 善典 議員	中村 憲次 議員	小林 重太郎 議員	田中 寿光 議員	後藤 邦夫 議員	中村 嘉男 議員	柏木 博美 議員	相原 久男 議員	疇地 稔 議員	林 稔 議員	柳沢 乃ぶ子 議員	小林 より子 議員	清水 清利 議員	
11月臨時会																				
議案第88号 平成24年度小諸市一般会計補正予算（第5号）※1	×	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○
12月定例会																				
請願第24-13 消費税増税の中止を求める請願書 ※2	○	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○

※1 小諸厚生総合病院再構築に対する財政支援30億円の債務負担計上の議案（16ページ参照）
 ※2 請願第24-13は、採択議決に対する表決結果。
 ※3 議長は表決には加わりません。

傍聴席



八幡町 齊藤 雪子 さん

12月の市議会を傍聴させていただきます。懸念されていた厚生病院問題も解決し、議会の雰囲気も和やかに感じられました。私にとっては初めての傍聴であり、また時間の都合で短時間ではありますが、市政を身近に感じることができました。市役所敷地一帯での整備がいよいよスタートです。厚生病院を核としたコンパクトシティの実現は全国初だとか。そして、全国から注目され沢山の人が訪れるまちになれば理想です。まだまだこの小諸市にも様々な問題が山積みです。詩情豊かな高原の城下町であるこの小諸市の良さを活かしたまちづくりに邁進してほしいと思います。

12月10日
経済建設委員会
報告

■市道に設置する道路標識の寸法等に関する条例

質疑

標識が倒壊し、人や物に対し損害を与えた時は道路管理者に責任があると思うがどうか。

答 弁

適正な管理をする必要があるため、事故を起こすことの無い様、事前に改善をしていく。

■道路占用料徴収条例の一部改正について

質疑

市が所有する添加広告とはどのようなものが考えられるのか。

答 弁

防災無線、街灯、消火栓標識、バス停標識など。

■市民ガーデン条例の一部改正について

質疑

商工観光課は小諸宿本陣主屋の実績報告書の引継を受けているのか。

答 弁

休館中の管理内容については所管課の変更に引き継がれている。

■下水道条例について

質疑

法改正による条例を整備するということが、どのような周知を考えているか。

答 弁

市民へはもちろんだが、下水道指定工事人も詳しい制度の説明を実施する。

質疑

■公共下水道事業補正予算について

質疑

公共下水道事業会計は赤字経営でないという事でよいのか。

答 弁

一般会計からの繰入金に依存しているため、赤字ではないが繰入金の額を少なくするよう経営努力をしていきたい。

■一般会計補正予算（第8号）について

質疑

森林の里親事業について、冬に間伐する必要性は何か。

答 弁

補助金と寄附金の活用のため、今年度中に事業を進める必要がある。

質疑

土地開発公社所有の土地を太陽光発電の事業者への売却について、地元や、景観について配慮するよう話をしてほしい。

答 弁

地元への対応や、景観について配慮するよう話していきたい。

質疑

公共下水道松井川改修工事について、どのような工法を予定しているのか。

答 弁

ボックスカルバートとL型擁壁による全面的な改修を予定している。

12月11日
総務文教委員会
報告

■小諸市スポーツ推進条例

質疑

具体的な施策は。

答 弁

「スポーツ推進計画」を平成25年度に策定する中で、具体的なものを盛り込んでいく。

質疑

異世代交流やコミュニティづくりの一環としてスポーツを取り入れていくことについて、どう考えているか。

答 弁

スポーツや生涯学習は地域社会を再構築していくツールと考えており、スポーツ推進計画にしっかり位置づけていく。

質疑

小諸市のオリジナルな部分は何か。

答 弁

健康づくりの観点を大幅に加えた。

■平成24年度小諸市一般会計補正予算（第8号）

質疑

第9次基本計画策定の中で、事業仕分けのようなことは行われているのか。

答 弁

予算要求に合わせて実施計画案を提出し、予算調整と合わせて議論している。

質疑

中学生の海外交流事業の派遣先をミシガン州ホランドに変更する理由は。

答 弁

明治学院大学との交流の中で、木村熊二の学んだ「ホープカレッジ」と同大が姉妹提携していることから話が進んだ。

質疑

総合体育館の耐震補強により、今後どのくらいまでもつのか。

答 弁

地震の際の強度が高まるというもので、建物の寿命が長くなるものではない。



耐震補強工事が行われる総合体育館

■消費税増税の中止を求める請願

「採択」の意見

・財源を求めるのに、安易に国民に税負担を求めるのは順序が違う。
・議員発議の消費税反対の意見書も送っている。
・進め方の手順にも問題がある。

「不採択」の意見

・軽減税率の導入や税額控除等、低所得者への配慮がされている。
・請願者には財源をどこに求めるのか明確になっていない。
・消費税の取り方が一番公平と思う。

「委員長採決により「採択」。ただし本会議においては本請願についての委員長報告が否決となりました。」

12月12日
福祉環境
委員会
報告



国の地域主権改革推進を図るための関連法が成立したことにより、市で定める条例が4件出されましたが、これにより現行のサービスが変更になることはないとの説明がありました。

市長が認めた場合、一部屋の基準を4人以下にするのが出来るかあるが、どのような場合を想定したのか。

■介護老人福祉施設の設備基準

質疑

答弁 個室になると入居費が高くなるため、地域の特性や低所得者に対応するため、4人までの多床室の整備が可能なので、規定に盛り込んだ。

■介護は施設から在宅へ

質疑 全体の傾向として、介護は施設から在宅へという流れになってきているが、小諸市の現状と今後の見込みはどうか。

答弁 小諸市も、在宅介護者の給付費が伸びてきている。今後、要支援者が減少し、介護度が大きくなった人の増加傾向が続くと思われる。施設入所希望者が多いことは把握しており、施設が不足することは予想できる。

■24年度一般会計補正予算(第8号)から

質疑 生活保護扶助費の増額は、当初予算のときに見込めないのか。また、増額の内容は何か。

答弁 前年度実績をもとに予算計上するが、保護者の高齢化に伴い、医療扶助費や介護扶助費が増加している。医療扶助費は、高額の入院治療を要したケースが複数あり、介護扶助費では、65歳未満の保護者の介護利用が当初より増加したため。

意見 当該施設には放射性物質を含む焼却灰が埋め立てられている。完全に安全な状態で長期間管理されるか疑問である。かさ上げについて慎重な対応の要請は必要なので、採択。

請願 当該施設には放射性物質を含む焼却灰が埋め立てられている。完全に安全な状態で長期間管理されるか疑問である。かさ上げについて慎重な対応の要請は必要なので、採択。

意見 請願趣旨は理解できるが、請願書にある具体的事象、小諸市との関係も確認したい。もう少し議論すべきと思うので、継続審査。

採決の結果、継続審査となりました。

請願・陳情の審査結果

種類	件名	氏名	結果
請願	スポーツ振興に関する請願書	小諸市体育協会 会長 武田 良男	趣旨採択
	消費税増税の中止を求める請願書	消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表委員 三井 幸男	不採択
	小諸市議会として、民間の最終処分場のかさ上げについて、慎重な対応を県に求めている旨の請願書	放射能を考える佐久地区連絡会 代表 長岡 直仁	継続審査
陳情	安全・安心な医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	趣旨採択
	安心できる介護保険制度の実現を求める陳情書	長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子	採択
	最低制限価格の設定に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 外1名	不採択
	国土交通省告示第15号の履行に関する陳情書	一般社団法人長野県建築士事務所協会 会長 池田 修平 外1名	採択
	未満児通園について支援に関する陳情	暁の星幼稚園 長岡 やすよ 外4名	不採択
	特別支援を必要とする園児の子育て支援に関する陳情	暁の星幼稚園 長岡 やすよ 外4名	採択

教育と文化の小諸市の将来像
〜活力ある小諸を取り戻すために〜



小林重太郎
(小諸竜馬の会)

質問

教育と文化を重視した小諸市の将来像として、目指す姿はどのようなものか。

市長

教育と文化は未来への投資。しっかりと教育施策に取り組み、教育分野において地域のトッププレイヤーとして抜きん出れば、小諸の地で子どもを育てたいという若い世代が集まり、やがて活力あふれるさとづくりにつながるかと確信している。

質問

全国に誇れる小諸ならではの教育を構築する意思はあるか。

市長

小諸教育・梅花教育を復興し、施策に磨きをかけ、あるいは時代に即し



朝の部活風景 (芦原中学校)

た改革を行っていくことで、全国に誇れる小諸ならではの教育を再構築していきたい。

質問

いじめのないまち・小諸へ。いじめ防止条例を制定する方向性はあるか。

教育長

社会全体で取り組む重要課題との宣言をすることは必要。県の動きも注視しながら研究したい。

空き教室の活用について



田邊久夫
(小諸竜馬の会)

質問

児童、生徒数の減少により、現在は使用されていない空き教室が各校に何室かあると思うが、これらの教室を遊休しておくべきでなく、有効活用すべきであると思う。

市長

市内には、書・画・短歌・俳句等々の愛好者がいるが、発表、展示の場がないと思う。

そこで芸術作品の展示場にすることは可能かどうか、可能であれば実施することについていかがお考えか。

教育長

大いに文化活動に利用するという可能性はある。ただ、セキユリティーの問題等があるので、昼間の見学等なら可能だが、夜については少し難しい



有効活用が期待される空き教室

と今の時点では思う。

私の知っているところでは、学校の一室を美術館にしたり、文化施設にしたりという先例ある。

今、議員おっしゃるような文化活動・子どもたちの情操教育に役立てる活用の仕方は、大いに考えられることで、前向きに考えていきたいと思う。

認証取得したセーフコミュニティについて



田中寿光
(創正会)

質問

これまでのセーフコミュニティ活動の状況と、市民認知度はどうか。

市長

セーフコミュニティに取り組み体制や仕組みづくりは進んできているが、市民認知度については、さらに努力が必要と感じている。これからも取り組みの輪を広げながら、名実ともに安全で安心なまちづくりを進め、市民の皆様の認知度を高めていきたいと考えている。

質問

根拠のある安全対策を実施とはどのような事業なのか。

市長

各分野、組織において集計されたデータを外傷調査委員会において統計



学的に分析し、各対策委員会において課題解決に向けて、有効活用していくことである。

質問

第8次基本計画の検証と評価をしっかりとすべきと思うがどうか。

市長

第9次基本計画の策定に向けたそれぞれのプロセスの中で行われている。

節電対策でリース方式LED照明導入を提案・消費者教育推進で詐欺や悪徳商法から市民を守る。

質問

継続的な節電・省エネ対策の現状はどうか。

市長

市庁舎は照明の間引き、小まめな消灯、冷暖房設定温度調節等で15%削減。今年度以降は公共指定避難施設へ太陽光発電システムの設置を検討中。

質問

節電対策として民間資金を活用したリース方式による公共施設へのLED照明の導入はどうか。

市民生活部長

施設毎に照明設備の種類等を調査し検討する。

質問

特定規模電気事業者に対する考え方はどうか。

市長

今後県内全国の状況の情報収集を図り研究する。



柏木今朝男

(公明党)

小諸市の財政状況はどうか。空き家対策条例の制定はどうか。

質問

大型事業の増加による起債額の変更はどうか。

市長

事業費は6億3800万円増加となる試算で、市債については2億5300万円の増となる。

質問

市税減収と社会保障費の増加をどう捉えるか。

市長

人口減少、高齢化率の上昇や景気低迷の影響等により市税収入の伸びは期待できず、一方、社会保障費は年々増加傾向であり一般財源を圧迫する状況のため、受益者負担の見直しが懸念される。

質問

市税減収対策はどうか。

市長

市外からの企業誘致と



太陽光発電パネルを設置した住宅



清水喜久男

(新政会)

市長就任8ヶ月の感想

質問

柳田市長就任8ヶ月となった。この間大型事業(ごみ焼却施設、市庁舎・厚生病院・図書館再構築)は一旦立ち止まって改めて市民に問うとしたが、前芦澤市政の政策になってしまった理由は。

市長

目まぐるしく密度の高い毎日であった。公約の政策については就任後にそれまでの経過や、小諸市が置かれている現状に直面する中で、市長という立場になるまで認識し得なかつた多くの事を知り、熟慮を重ね、市民益を第一に考え決断した。

質問

副市長の件は。

市長

もう少し猶予が欲しい。

質問

議員も市民の皆様も同じようにご苦労された事は強く感じており、雨降って地固まるような形で心を一つにして前に進んでいただきたい。

市長

市長もご苦労されたが市長を支援した者、前政策を支持した者、両者は心の整理に苦慮している。この心境をどう思うか。



柳沢乃ぶ子

(新風市政会)



厚生病院・市庁舎問題特別委員会

安心して住み続けることのできるまちづくり



早川 聖

(日本共産党)

質問

医師、看護師確保について、病院まかせにせず、市として何か提案できるようなものはないのか。

的に国や関係機関へ働きかけをしてほしい。

保健福祉部長

国保連担当課長会議を通じて働きかけていきたい。

質問

情報の提供等、病院と相談しながら、行政のできる範囲で協力していく。

経済事情で住宅リフォームができない方が利用できるよう、少額な工事費や定率で助成するという工夫も必要ではないか。

建設部長

3年目の節目で、しっかり検証したい。

質問

市長公約の6次産業の進捗状況は。

市長

他市町村等での販売拠点を立て上げ成功した事例、失敗した事例など調査・研究を進めている。



今後の市政方針・定住策・浅間南麓地域との合併の将来像は



竹内 健一

(創正会)

質問

任期満了までどのように市政運営していくのか。

市長

様々な分野の課題が山積しており着実に市民益となるべく進めていく。

質問

第4次基本構想到政策を反映できないか。

市長

市政経営上、問題がない為、見直す考えはない。

質問

市長

新図書館構築がひとつの例で又、浅間2000m高地トレイニング構想も検討会議を進めている。

質問

若年層夫婦の定住人口増の施策として住宅建設に助成はどうか。



市長

雇用の確保の課題もあるが、助成策で一定の効果が見込めるか。

質問

市長

厚生病院スタッフの住居対策は、どう考えるか。

市長

住居対策を講じる事で経済効果にも期待できる。

質問

市の将来に向け浅間南麓地域との合併の考えは。

市長

互いの協議が必要だ。

小諸市の農業振興策について



依田 善典

(小諸竜馬の会)

質問

市庁舎と厚生総合病院の再構築につき方針決定された。中心市街地は市の顔でもあり活性化を推進することが極めて重要と考える。市全体を均衡に発展させ、周辺農村地域振興を推し進めることは、中心市街地活性と同様欠くことのできない重要なことと考える。市長はこれからの農業振興策についてどの様に考えるか。

市長

小諸市の実情に合った独自の農村政策を図るなかで6次産業のネットワーク化など様々な対策を進める一方、第9次基本計画において、シティプロモーション(市のPR)の推進による交流人口、移住人口の増加を推し進める予定となっている。

質問

農村地域の多面的機能をどのように考えるか。

市長

農村生活の活動の場であると同時に国土保全や美しい自然環境保全、水源涵養機能等、市にない貴重な財産が豊かであり、都市部では大いに恩恵があり、極めて重要であると考えている。



コンパクトシティ、小型家電リサイクル法、コンビニ証明の取り組み状況

質問

小諸厚生総合病院再構築と市庁舎建設におけるコンパクトシティの取り組みはどうか。

市長

都市の郊外化による様々な問題を克服し歩いて暮らせる、まちづくりをするためにコンパクトシティを取り入れた。駐車場の渋滞緩和、循環パスのさらなる拡充、あいおい公園の整備などを検討している。

質問

小型家電リサイクル法について取り組みはどうか。

市長

平成25年4月1日から施行されるが、ガイドラインが平成25年1月に示され平成25年4月から再



市民報告会の総括と公約について

質問

重要課題の市民報告会が8会場で実施されたが、参加者はわずか22名であった。市長は公約で市民の声に耳を傾け、対話と協調を訴えて民意を得たと思うが、報告会で市民は重要案件を理解し納得したか。また市長は説明責任を果たせたか。

市長

不参加の市民は広報等で理解されたと思う。参加した市民はおおむね理解したと考える。



市民報告会の様子

質問

市長の掲げた公約の大きな3点、市民アンケート調査の実施、ごみ焼却施設問題、病院再構築問題が、公約違反であったことについて、市民から市長はその職を辞職すべきとの厳しい意見があったが、どのように捉えているか。

市長

候補者のときと市長になつてからとが、全く情報の質が違つていたため実態を知るに付け、病院併設はやむなしということがわかった。苦渋の選択であった。今後市民にあらゆる機会でお詫びし理解を求めたい。

質問

選挙公約不履行の要因・介護保険改正に伴う問題点について

行つてほしい。

市長

市長は、小諸厚生病院の再構築場所は、3案で市民アンケートを行い、ごみ焼却施設は、単独建設と佐久地域10市町村共同建設のメリット、デメリットを明らかにし、市民合意で進めると選挙公約をした。しかし、市民に一度も問うことなく、市長の独断で、前市長が進めた計画で決めてしまった。市民は選挙戦を戦つた意味がない。なぜアンケートを行わなかったのか等々、行政不信が起こつている。公約通りに行えば行政不信にはならない。アンケートを行わなかった一番の要因は何か。市民は財政も心配している。財政負担が多くならぬよう、しっかりと

質問

介護保険改正に伴い、ホームヘルパーの時間が短縮され、仕事途中で帰つてしまうのでその対策を。

保健福祉部長

実態を把握し、次の計画に活かしたい。



介護予防教室

後藤 邦夫

(公明党)



中村 憲次

(政真会)



小林 より子

(日本共産党)

教育や子育て支援の財源は
しっかり確保を



柏木博美
(日本共産党)

質問

全ての保育園で障がい児保育が実施され、保育士が加配されているが、臨時職員で対応している。同じ仕事をしているのであれば、きちんと評価し、正職員と同じ処遇にすべきではないか。

総務部長

人事院から恒常的業務をする臨時職員の待遇改善をといて特別な指示も出ているので、他市町村の状況を勘案しながら待遇改善を図っていければと考えている。

質問

以前から、収入の少ない子育て世帯への経済的支援として、同時に2人以上在園している時の保育料軽減策を、1人目が卒園してからも継続をと

私たちが住む小諸市の
まちづくりについて



疇地 稔
(公明党)

質問

私達は、市庁舎整備と小諸厚生病院の再構築を推進した議員として必ず小諸市の歴史が証明する。

今後事業推進に最大限の努力を求めたいが。

市長

暮らしやすいまち、選ばれるまちを目指し、中心市街地再生に向けた新たな行動を今すぐ起こしていかなければと考える。

市庁舎敷地一帯での小



保育園で遊ぶ園児

市長

第1子の年齢基準を6歳児から18歳児までとし、その第2子以降の子どもが保育園に通園した場合、第2子の保育料を軽減できるよう、幾つかの方法を検討し、平成25年4月1日からの実施に合うよう準備を進めている。

一部供用開始した
東西インターアクセス道路



市民との向き合い方に問題はないか



神津眞美子
(新政会)

質問

公約に掲げた重要施策は共に方針転換となったが、市民への説明責任を果たしたと言えるか。報告会への市長参加が公平でないとの市民意見があるがどうか。

市長

両方の説明をする意味で参加地域を選んだ。今後も機会をつくっていく。

建設部長

本事業は、紆余曲折があり、今後については期成同盟会を通じて改めて皆さんのご意見を聞いていきたい。

質問

小諸インター周辺整備について。

市長

小諸市の新しい玄関としてふさわしい地区にするため、活性化推進機構を設立し活動を行っている。今後検討したい。

厚生病院への財政支援の根拠について、近隣市町の自治体病院への支援額が示された。国から地方交付税の手当があることにはふれず、情報公開の点から問題だ。例を示すなら県内にある厚生病院への各自治体の支援額を示すべきでは。



小諸市議会報告会
～市民との意見交換～

財政課長

意識的でなく、交付税算定の認識が不足していたと反省する。

質問

コンパクトシティを促す活性化法が施行されて6年目を迎え、もつと面的な広がりが必要。郊外の土地利用など、問題点が指摘されているが。

市長

この狭いエリアでつくらざるを得ない。

平成24年度 小諸市議会報告会 ～市民との意見交換会～

特集11～14ページ

を開催しました。

目的及び趣旨

平成24年度の議会報告会は、昨年の11月13日から21日の間に、市内6ヶ所の会場で実施し、180名のご参加をいただきました。

実施にあたりましては、区長会、開催会場の区役員の方々にご協力をいただき無事に実施することができまして感謝申し上げます。

この議会報告会の取り組みは、議会改革の取り組みの一環として、議会の活動を知っていただき、頂いたご意見等を今後の議会活動に活かそうと、平成20年から始めて今年で5回目の開催となりました。

特に、今回は市民の意



コミュニティセンター

見を二分したとも言える「小諸厚生総合病院の新たな建設場所」「市庁舎の建設」「市単独のごみ処理施設建設」事業について、議会は2年半の議論を経て方向付けはされていると判断していた議員が多数でしたが、昨年4月の市長選挙において、病院の再構築場所について市民の意向を確認することを公約とした柳田市政が誕生し、議会対応も激化しました。

この間、「ごみ処理施設建設特別委員会」「厚生病院・市庁舎問題特別委員会」が頻繁に開催され、市民やマスコミ等も注目するなかで、市長の決断と議会としての方向付けが決まり、コンパクトシティーとしてのまちづくりが具体的に動き出すことになりました。

それにより、多額の資金が必要になることや将来を決める大切なまちづくり事業になることから、これまでの議会対応の報告と、市民のご意見を直接伺わせていただく場と

して報告会を開催させていただきました。

主な発言の内容

特に今回の実施に向けては、市の重点事業の方向付けがされた後の報告会と言うことで、今までの反省を踏まえて、資料は簡潔明瞭にし、プロジェクターによる解り易い説明をしたり、市民からの発言時間を多く設けるために「市民との意見交換会」をサブタイトルに、全議員を3班に分けて実施いたしました。

今回は市も、柳田市長が重点事業について重要な判断をしたことから、議会報告会実施の4日前に「市民報告会」を市内8会場において実施しています。そのため、その直後の実施となった「議会報告会」への参加率は前年よりも少ない状況となりました。しかし、6会場での参加者方から活発な発言と、今後の議会活動に大変参考となるご意見をいただきました。全体で85件の

今後の対応

発言があり、内容は小諸厚生総合病院再構築関係が27件、市単独ごみ処理施設建設関係14件、市財政関係2件、議会や議会報告会に対して6件、教育・学校・生活環境放射能関係9件、議員定数関係8件、行政への意見要望や副市長に関するものが4件、その他にも観光関係やデマンド交通に対する意見等をいただきました。

発言の内容の要旨を次頁に掲載させていただきましたが、頂いた発言の扱いについては、関係委員会での対応や、議会として取り組むべき課題は全議員で協議し、市に対する意見は行政側に伝えるといった対応をしています。

また、議会報告会に臨んだ議員は、各会場で頂いたご意見を教訓として受け止め、各議員や各党派活動に活かして参りますので、よろしくお願いたします。

開催日	会場	参加者
11月13日(火)	コミュニティセンター	30人
11月14日(水)	人権センター	9人
11月15日(木)	JA大里支所	41人
11月16日(金)	久保公民館	30人
11月20日(火)	柏木上生活改善センター	26人
11月21日(水)	和田研修センター	44人
	合計	180人

開催時間

午後7時～9時

開催日・会場・参加者数



コミュニティセンター

各会場から出された質問や意見等

(数多くの)意見等をいただきましたが、こちらの都合で集約させていただきます。

議会報告会について

意見 議会報告会の出席者が少ない。広報車による広報等周知方法を検討して、有意義な報告会にしてほしい。

意見 大型事業が決まる前に議会報告会を開き、市民との意見交換会にしてほしい。

意見 議会報告会の内容を区長に連絡するだけでなく、市民にも知らせしてほしい。議会報告会の内容を議会だよりに掲載してほしい。

副市長について

質問 副市長が決まっていないが議会としてどのように考えているのか。

回答 早期に副市長を選任するように、市長に伝えている。大型事業が山積しており、議会としては一刻も早く副市長が決まることを願っている。

教育関係

質問 小学校改修の現状と今後の計画について。

回答 平成24年度中に改修できる箇所もあるが、平成25年度から26年度にかけて改修する箇所については、優先順位を付けて改修を行う。計画では、3年以内に改修が終了する予定である。

意見 通学路の整備早急に対応してほしい。

放射能関係

質問 学校給食食材に対する放射能測定はおこなっているのか。

回答 学校給食食材も放射性セシウム濃度を測定している。



人権センター

定しているが、もし放射能が検出された場合はその食材の使用を中止する。また、議会として検査機の導入を教育委員会へ提言している。

意見 民間業者の最終処分場について基準を下げることにについて、議会として見届けてほしい。

意見 低放射線量(被ばくの問題)を議会としても認識してほしい。

アレチウリ対策

質問 アレチウリの駆除を市民ぐるみで行う取り組みを検討してほしい。

回答 地区によっては地域住民でアレチウリの駆除を行っているが、強制は出来ない。

意見 アレチウリは、成長抑制剤を散布することで減らすことができる。

デマンド交通

質問 デマンド交通の説明をしてほしい。

回答 高齢者、障がい者等に対して、戸口から戸口まで交通機関によって送迎をするシステムで



久保公民館

観光振興について

質問 小諸市の観光客が減少しているが、何か対策はあるのか。

回答 グリーンツーリズム(都市農村交流)事業を積極的に実施し、都会からの誘客に努めている。

質問 大型事業でお金を使うので収入を確保することを考えなければいけない。浅間山、高峰高原等の観光PRに力を入れ、市内に宿泊できる仕組みをつくり、誘客活動を推し進めてほしい。

回答 自然を活用した誘客に向けて検討をしていく。

市営住宅について

質問 市営住宅管理が

長野県住宅供給公社に管理代行となるということだが、何か変わるのか。

回答 平成25年4月から県営住宅と市営住宅の入居手続等が市役所の窓口で一元化され、入居者からの対応も迅速化が図られる。

議員定数について

質問 議員定数削減についてどのように考えているのか。

回答 平成25年12月までは、議会としての結論を出す予定である。

質問 市民も参加して審議委員会等設置して検討をしたらどうか。

回答 貴重なご意見として検討していきたい。

質問 資質向上のため慎重に検討してほしい。

回答 議会では、削減・現状維持・増員等さまざまな意見があり、充分検討をしていく。

質問 定数の見直しについては他市町村を参考にしているのではなく、小諸市議会として議会機能を考えた上で見直すべき。

回答 平成25年には特別委員会を設置して検討していく予定であり、12月までには結論を出す。

意見 議会から情報が伝わっていない。第9次基本計画が広報されていない。

意見 定数削減によって市民の声が反映しにくくなるのではないかと削減することによって議員の資質向上になるとは思えない。

意見 議員定数について、民意をどのように捉えるのか。

市の財政について

意見 大型事業について、財政的に心配いらないうという説明がほしい。

意見 大型事業によって後世にまで借金を残さないでほしい。議会は先



JA大里支所

見性のある判断をするべき。

新ごみ処理施設建設

質問 中沢川上流に施設が出来るが、下流の農地が汚染されないか心配である。雨水対策もしっかりしてほしい。

回答 特別委員会で、行政側へ伝えていく。

質問 焼却で発生する熱についての活用方法は、

回答 焼却施設の稼働は16時間であり、その熱は施設内で入浴用のお湯として活用し、職員や地域の方に利用してもらっているか。

質問 中沢川への施設からの放流水はどうなっているか。

回答 施設内で使う水は循環型なので放流水はない。また公害について



も心配ない。

質問 DBO方式により発注するということが、国内にはいくつも受ける業者があるのか。

回答 十数社あり、入札業者の中から総合的に審査する。

質問 施設は避難場所にもなっているというが、施設内に危険な箇所もあるのではないか。

回答 耐震性がある事務所等を、避難場所として考えている。

質問 施設完成後は、ごみの分別方法の変更はあるのか。

回答 変更ありません。
質問 農業用マルチシート等も焼却できるのか。

回答 産業廃棄物のため、施設では受け入れられない。

意見 管理体制について、しっかりと法の基準を確認してほしい。

意見 職員の専門化により、委託業者の言いなりにならないように管理してほしい。

意見 施設建設には、



**厚生病院再構築
及び新庁舎建設**

民意を十分に反映してほしい。

質問 アンケート中止は納得できない。

回答 6月議会で全会一致で議会は認めましたが、9月に市長から、アンケートを実施することで市民が対立するため延期との説明があり、11月に市と厚生連の協議の結果、厚生病院は市役所南庭以外は再構築できないというところで、アンケートを中止した。

質問 障がい者用の駐車場を病院の近くに造ってほしい。

回答 要望として伝える。

質問 病院が市街地に

来ること活性化になるか。

回答 厚生病院が市街地に来たことでそれを起爆剤とし、そこから空店舗の活用や誘客になんとか繋がるようにしていきたい。

質問 薬局が増えて活性化されたり、高地トレーニングで宿泊客が増えるというが、そんな状況ではない。具体的な活性化の案を示してほしい。

回答 病院と市の職員が集まるので賑わいが出ると思う。病院が市街地に来るのは、二次救急医療を担う厚生病院を無くさないという目的もある。コンパクトシティ構想を進めるために、中心市街地に定住人口を増やすため、マンション等の建設も必要だと思う。

質問 コンパクトシティ構想は、実際買い物等は上田市や佐久市に市民は行っているのだから、それを解決することが必要である。また、厚生連へ30億円の財政支援や大型事業など大金が掛かるの

で、市民の負担にならないようにしてほしい。

回答 市民の負担にならないように、議会でしっかりと検討する。国のコンパクトシティ構想や市の総合計画を含めて、まちづくりを進めていく。

意見 厚生病院と市庁舎を併設するのは難しいのでは。

意見 二次救急医療について、市民に解りやすく説明してほしい。

意見 病床数を20床以上を増やすように議会として運動してほしい。

意見 どのような病院を建設するのか市民に説明してほしい。

要望 大型事業は134億円を超えるものであり、市民に対して説明不足である。今後は、市はもち



ろんだが、議会も説明責任を果たしてほしい。

要望 50年に渡る重要案件であり、議会も可決した以上責任を持って対処してほしい。

質問 厚生病院と市役所を併設して駐車台数は確保できるのか。

回答 約400台を確保する予定だが、利用者に配慮した駐車場にしていく。

質問 病院の再構築のことばかり議論されているが、保健や福祉事業に對しても整備の検討を。

回答 現厚生病院施設の後利用について、総合福祉センター設置を要望する陳情を委員会で採択しているの、そういう話し合いも今後していく。

意見 支援する30億円は、どこから捻出するのか。また、財政支援して市民にメリットがあるのか。

意見 市役所敷地に厚生病院を建設するのに、市民の意見を聞かなくていいのか。

アンケート用紙に記入いただいた意見・感想
(数多く頂いた内容の一部を、原文どおり掲載させていただきます)

コミュニケーションセンター(11/13)

パワーポイントを使用し、シンプルな説明で市民は理解を深められたと思います。昨年までの資料ばかりの報告会より、だいぶ良くなったと思います。

この様な会議には出来るだけ参加することが大切です。市民としての義務です。また質問は、発言することが大切です。少しでも小諸市の発展一人一人の幸福を願うところでは無関心、無責任は良くない事です。

議員定数、ごみ焼却場、厚生病院等、課題山積の様ですが、「市をこうする」と志を持つ議員となられた方ですので、「私」は山積の課題に「これぞ」という意見を持ち合わせていません。議員相互に検討をし、行政と協力し方向を出していただければ「可」と考えます。

人権センター(11/14)

大型事業の費用(予算)

算)は十分に検討していただきたい。荒廃農地の対策を検討していただきたい。

病院建設は障がい者駐車場を、近くに広い障がい者が利用できる駐車場を考えていただきたい。

J A 大里支所(11/15)

マイク使用、話している人は熱中しているから分らないが、聞く者は音が割れて非常に聞きにくい。マイクを改良するか肉声で話すか方法を考えてください。

報告会であり、結果を聞いているので意見交換にはならないと思います。どうい経過での結果になったか聞くだけに過ぎないと思います。意見交換をするなら、決定する前にしてほしい。

久保公民館(11/16)

議会、意見交換会等で議員の皆さんは大変努力されており、引き続き4万4千市民のため、頑張ってください。

柏上生涯改善センター(11/20)

報告会を何カ所で行っていただくことは、とても良いと思います。市民が行政・議会に対して関心・認識を持つ機会になります。夜分、多くの議員さん出席して対応頂き敬意を表します。

和田研修センター(11/21)

次回の報告会には、出席者の質問・意見を事前に想定し、具体的データや情報を充分把握した上で、問答集を作っておいたらいかがでしょうか。意見交換会は、あまり意味がないと思う。「その他意見がありますか?」で良いと思う。

報告会は良かったと思われる。意見交換会は貴重な意見もあった。議会が最善をつくしてください。南大井・三岡地区にもっと目を向けてほしいのが本音です。

出席者が同一認識に立っていない。一部の発言者のみで、時間をつかってるのは気になる。確実なフィードバックを期待したい。

報告会を終えて / 議長 別府 福雄

今回で5回目となる議会報告会開催に当たり、区長会をはじめ多くの皆様のご協力をいただき衷心より御礼申し上げます。今回は、会場を小学校の通学区ごととし6カ所で開催しました。昨年と会場を変えた理由としては、通学区単位の共通の話題や、問題点が共有でき、意見交換も活発になるのではないかとこのことで、変更することになりました。

また、各会場を班ごとに設営していますが、その班編成についても、今までは地元議員を主体としていたものから、議員が所属する委員会から平均して3班に分かれるように配慮しました。更に、今までは配布資

料に沿って説明していましたが、今回からプロジェクターを使用し、スクリーンを見ていただきながら解り易い説明ができるように心がけました。さて、今回の議会報告会は、市の重要課題である、新ごみ焼却施設建設と小諸厚生総合病院の再構築問題が大きなテーマでした。

報告会の直前に病院問題も方向が決まり、ごみ処理施設建設については7月に方向が決定している中で、報告会でありました。参加者からの発言の内容も市の重要課題に対する意見や質問が多く、これまでの議会の対応についてご説明を申し上げます。

前頁に掲載してありますとおり、多くの皆様から頂いたご質問やご意見は、今後議会としてしっかりと受け止め、議会活動に活かして参ります。また、今回の反省、総



議会の活動をj知っていただき、その時々々の課題、問題点についての共通の認識を持ちながら、独立の行政機関に対し、合議制である議会の立場で、行政に対する姿勢をしつかりと持ちチェックする機関の責務を果たしてまいる所存でございます。今後、議会報告会に對しまして、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

12月13日
ごみ処理施設建設
特別委員会
報告

●新ごみ焼却施設建設及び運営事業の入札公告について

技術審査委員会に於いて入札関係書類の審査を行い10月15日に入札公告をして25年2月20日に受付を終了。3月に落札者を決定するとの報告がありました。委員の「談合は防止できるのか。」の質疑に、価格点と技術点から評価する総合評価方式を採用するので、予め示し合わせて行う事はできないとの答弁がありました。

●地元菱野区との連携について

用地買収については、全筆の所有権移転登記が完了した。又、菱野区ごみ焼却施設建設検討委員会を開催し、入札公告や搬入路の改良事業について話し合いを行ったとの報告がありました。

●16次の委員会のまとめと今後の方向について

20年8月に市単独建設の方向が出され、建設候補地は公募方式で菱野区稲荷地区に決定したこと。国の交付金についても浅麓環境施設組合議会で了承され、交付要件である処理人口5万人以上が満たされ23年度から交付金が交付されていること。

建設・事業運営等にDBO方式を採用したこと。最終処分場も御影区と36年3月までの使用期間延長が了解されたこと。そして地元要望書について審議をしてみました。

4月、柳田市長誕生となり、佐久市等との共同処理方針への転換表明が

あり、その交渉経過の報告が再三要求にもかかわらず7月24日市単独で進める報告と、25億3千万円の差額についても大差ないという報告を受けました。

後期議会への引継論点としては、

- ①今後の契約締結にあたり、報告を求め議会としてチェックしていく。
- ②施設運営に対する対策意見等を聞き、反映する機会を設定する必要がある。
- ③地元要望に対して、信頼関係を結んでいくことを理解した上で、適切な対応が必要であることなどから、引き続き委員会を設置していく。



整備が進む焼却場搬入路

議員紹介コーナーへ おいでなんし パート3

質問事項 ①居住地 ②干支 ③趣味 ④座右の銘 ⑤つぶやき

8番 中村 憲次 議員
会派 政真会



(本人は左)

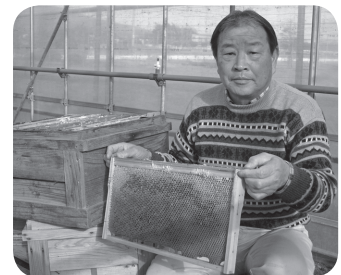
- ①加増
- ②午年
- ③ゴルフ
- ④進取の気象
- ⑤小諸市の50年、100年の方向性が決まりました。孫たちが希望を持てるようなまちづくりに寄与していきたいと思う。

7番 依田 善典 議員
会派 小諸竜馬の会



- ①菱野
- ②未年
- ③旅行
- ④和して同ぜず
- ⑤信頼される市政の確立に努力する。

6番 清水喜久男 議員
会派 新政会



- ①御影
- ②寅年
- ③ゴルフ・養蜂
- ④有言実行
- ⑤大型事業予算が大きいため金銭感覚が麻痺しているのではないかと。事業全体で6億円余が増加しても何も考えない感覚が問題だと思えます。

11月臨時会

11月13日開かれた、平成24年第5回11月市議会臨時会には、理事者から小諸厚生総合病院の再構築に向けての財政支援30億円の債務負担を計上した平成24年度小諸市一般会計補正予算（第5号）が提出されました。審議前に、厚生病院・市庁舎問題特別委員会の中間報告を受け確認されました。

採決では賛否両論があり表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

討論

原案のとおり可決すべきとの委員長報告に対する討論は、次のとおりです。

* 反対討論

小諸市の財政見直しを考えた場合、人口減少、高齢化、経済変動などにより税収の見直しは非常に厳しい一方、歳出においては、教育施設の計画的な整備や福祉中心とし

た市民サービスの充実に必要。抑制可能な歳出を抑える努力が必要です。

共産党市議団は、二次救急医療を担う市民的医療機関に対して、財政支援は必要と考えますが、厚生連から具体的事業費が示されていない。国・県からの補助金も不明確。30億円が妥当なのかどうかの議論が不十分な元では認める事は出来ない。

* 賛成討論

小諸市においては小諸厚生総合病院が市民の安全・安心に直結する二次救急医療の機能も担う市民病院の役割を果たしていることから、市が財政的な支援を行う事は当然であると考えます。

30億円の限度額についても、これまでの市と厚生連との話し合いの経過や、市民に対する説明会や市民アンケートでも当初事業費の半額程度とした30億円という数字で説明してきた経過があること、また協定書に基づく金額であることから妥当であると考えます。

12月13日
厚生病院・市庁舎問題
特別委員会
報告

小諸市の方針決定！ コンパクトシティへ

9月定例会後の委員会活動について報告します。なお、12月定例会は、第16次前期の最後の委員会でありませす。

本年4月の市長選以後前市政で進められた病院と市庁舎の併設議論が一旦中断し、柳田市長の公約に掲げた3案について議論を重ねてきました。

● 病院再構築場所を問うアンケート「中止」

10月8日の委員会にて、市民アンケートについては、実施する時間がない等から中止するとの市長表明がされました。

● 市側に、早急に最終方針決定するよう要請

市側より提案された3案についての審議経過を踏まえ、市役所敷地一帯

で再構築すべきとの方向を採決により確認し、市側に対して早急に方向を決定するよう要請いたしました。

● 病院・市庁舎「併設」を了承

10月17日夕、急遽開いた委員会にて、市長より市役所敷地一帯で病院を再構築し、あわせて図書館とコミュニティスペースを中心に整備するなど「コンパクトシティ」の考えでまちづくりを進めるとの最終方針が表明された。市民には丁寧な説明をしていくとの答弁があり、当委員会は了承いたしました。

11月16日、小諸市と県厚生連は、病院を現市役所敷地へ移転し運営する基本協定書に調印した。議長や南麓市町の首長と病院長も立会いました。

● 県厚生連との「基本協定書案」について審議

市側より示された県厚生連との基本協定書案について審議を重ね、病院の移転新築場所を現市役所敷地とするのと

財政支援は、総額30億円を限度とする補助金を交付すること等を確

認しました。なお、11月12日の議員全員協議会においても同内容について確認されました。

● 臨時会で補正予算を可決する

11月13日の臨時会において、限度額30億円の債務負担補正が賛成多数で可決されました。

● 病院の移転新築へ「協定書」調印

11月16日、小諸市と県厚生連は、病院を現市役所敷地へ移転し運営する基本協定書に調印した。議長や南麓市町の首長と病院長も立会いました。



編集後記

3・11東日本大震災以来「絆」という言葉がキーワードとして注目されています。戦後、高度成長経済を支えられ発展してきた日本は経済大国になり、高度に成長した成熟社会になりましたが、基本となる家族の構成が大きく変化しており核家族化が進んでいます。子どもが独立してからの夫婦2人または1人世帯の増加、借家住まいやマンション居住で近所付き合いのない暮らしも増えています。また近年、熟年離婚が増え、昔の6倍程になつており、1人暮らしの増加の一因になっている現状もあります。文明が発達すればするほど、人間と人間の「絆」が薄れていくのは誰もが実感している事です。

人と人とのつながりを大切にすることは、大げさかもしれませんが「明日も頑張ろう」という気持ちにつながるように思えてなりません。